

日本テキスタイルデザイン協会10周年

株式会社島精機製作所 代表取締役社長
島 正博

このたび、「日本テキスタイルデザイン協会創立10周年」を迎えられ、誠におめでとうございます。今日まで、日本のテキスタイルデザイン業界に貢献されてきた貴会の多大な業績に対し、心より敬意を表します。

さて、ひと口に10年といいますが、この間、我が国の繊維業界を取り巻く状況は大きく変わりました。繊維産業は労働集約型の代表的な産業であるが故に、安い人件費を求めて生産地がアジア諸国へ流れ、今では安価な輸入品が市場を席卷し、日本製の衣料を探すのが困難なほど、日本でのモノづくりが衰退しつつあります。また、本年度からスタートした中国製繊維製品のクォータ撤廃が日本へ及ぼす影響は今後注目すべきところであります。しかし、日本の「衣」の文化を存続させ、守っていくためにも、日本国内でのモノづくりが必要であります。

弊社では、貴会の誕生と時を同じくして、1995年に無縫製のニットウェアを生み出す「ホールガーメント横編機」を世界で初めて開発。従来人手を要した縫製作業を無くすことで、労働集約型産業からの脱皮を図り、デザインやプログラムなどのノウハウを結集させることで、知識集約型産業へと移行、安価な輸入製品との棲み分けを図ることで消費地生産に適したモノづくりを可能にしました。また、20年以上前からデザイナーの皆様方にも使いやすいデザインワーク用のコンピュータグラフィックスを開発し、今日では貴会の多くの会員メンバー様にもご愛顧いただいております。

市場ニーズが多様化し細分化される中、日本でのモノづくりに不可欠なスピード化やコストダウンを図るために重要なことは、効率化です。つまり、企画から生産、流通に至るまでの一貫した工程をバーチャルで表現できるコンピュータグラフィックスが、各ビジネスシーン間のコミュニケーションに大きな役割を果たし、効率化と企画提案力を向上させます。

本年度、弊社におきましてもホールガーメント誕生10周年記念を迎えます。弊社の理念である「限りなき前進－エバーオンワード」の精神のもと、今後も業界発展に資するため、新たな価値の創造に努めたいと思います。

貴会におかれましても、次代を担うデザイナーやクリエイターの人材育成、高度なデザイン力の向上に努められ、日本の繊維産業復興にご尽力されることを期待しております。

最後になりましたが、貴会のますますのご発展と皆様の一層のご活躍を祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。